

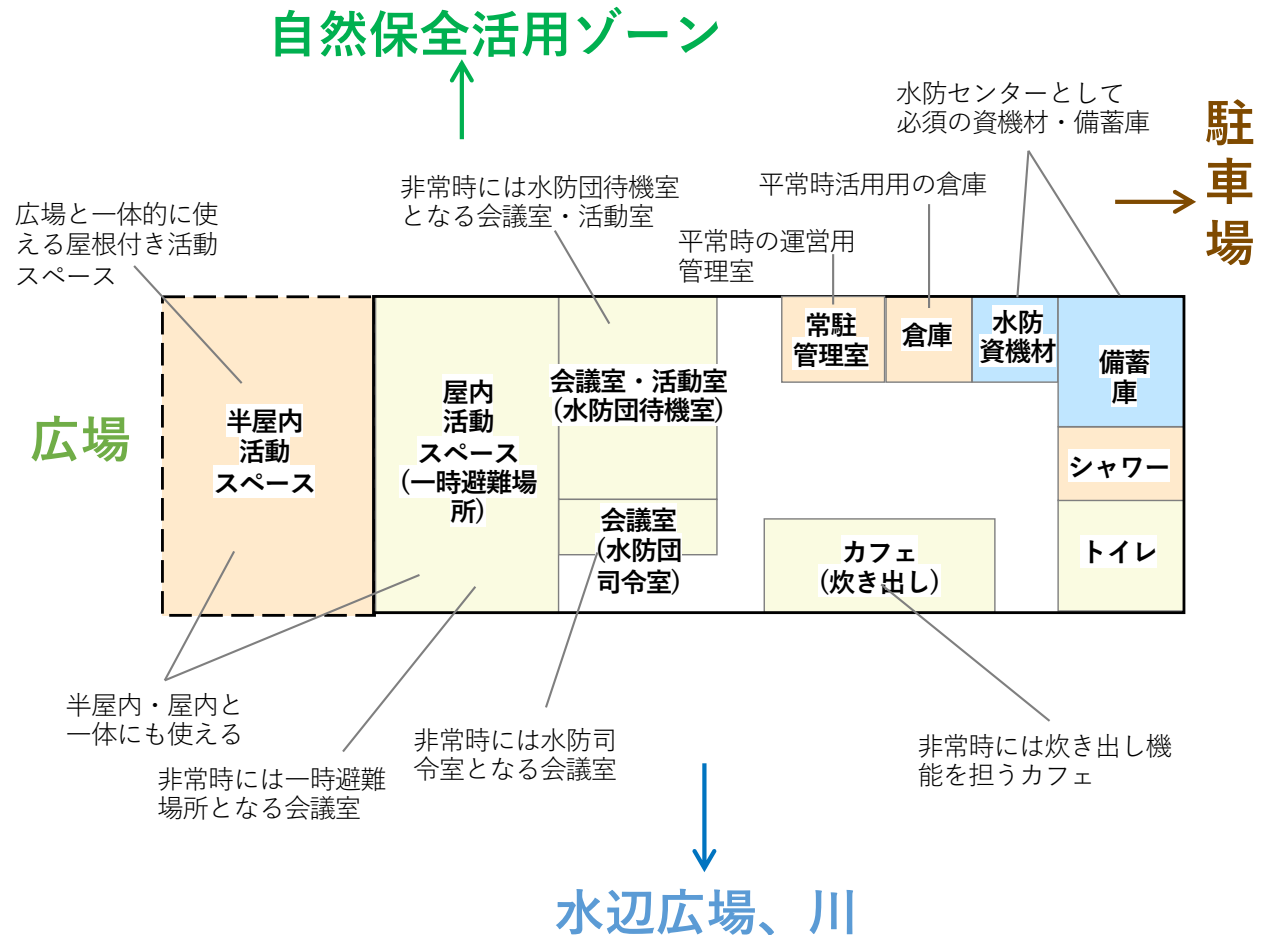
資料4 水防センターについて：水防センターの機能・ボリューム（案）

水防センター	650㎡程度 ・水防センター機能＋平常時活用施設
--------	-----------------------------

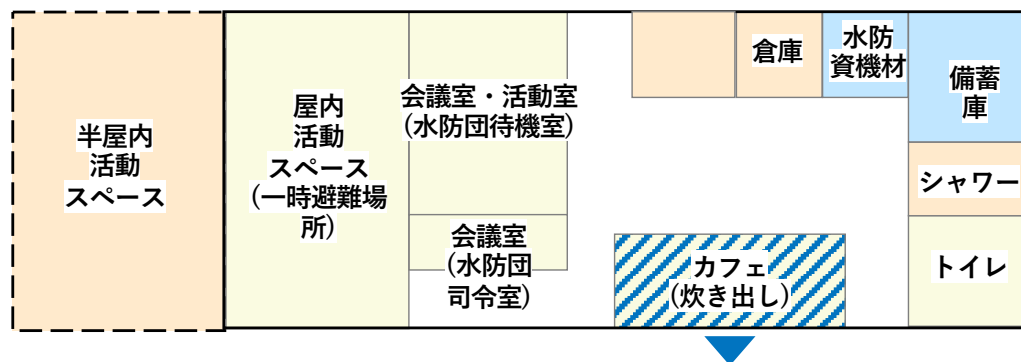
室・機能名		広さ	人数目安	
水防センター機能	平常時活用施設		スクール形式	シアター形式
水防資機材	—	16.0㎡	—	—
備蓄庫	—	34.0㎡	—	—
水防司令室	会議室	18.0㎡	6	12
水防団待機室	会議室・活動室	76.0㎡	25	50
一時避難場所	屋内活動スペース	98.0㎡	32	65
—	半屋内活動スペース	144㎡	48	96
炊き出し	カフェスペース ※事業者ヒアリング等を踏まえて要検討	42.0㎡～	—	—
男性トイレ	男性トイレ	9.0㎡	—	—
多目的トイレ	多目的トイレ	6.8㎡	—	—
女性トイレ	女性トイレ	9.0㎡	—	—
—	常駐管理室	18.0㎡	6	12
—	倉庫	28.4㎡	—	—
—	シャワー室	20㎡	—	—

- スクール形式（机＋イスを前向きに配置）：2～3㎡／人
- シアター形式（イスのみ、前向き）：1～1.5㎡／人

【レイアウトイメージ】

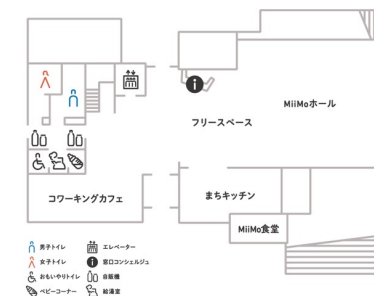


資料4 水防センター参考事例① テイクアウト屋外型



A. テイクアウト屋外型

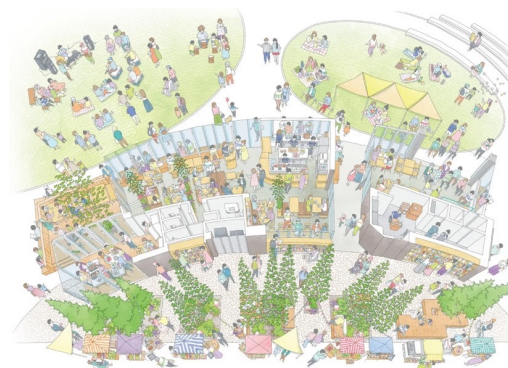
事例：三宅町交流まちづくりセンターMiiMo <https://www.miimo.jp/>



さまざまな飲食店が出店するテイクアウト型のお店。登録制のシェアキッチンで、お弁当からスイーツまで曜日替わりでさまざまなお店が出店。可動式の扉によって100名~200名まで使えるMiiMoホール。色んな活動が見えるよう、扉を開けての使用や、自由使用の範囲での活動も。予約がない時はフリースペースと一体的に自由に使える交流スペース。

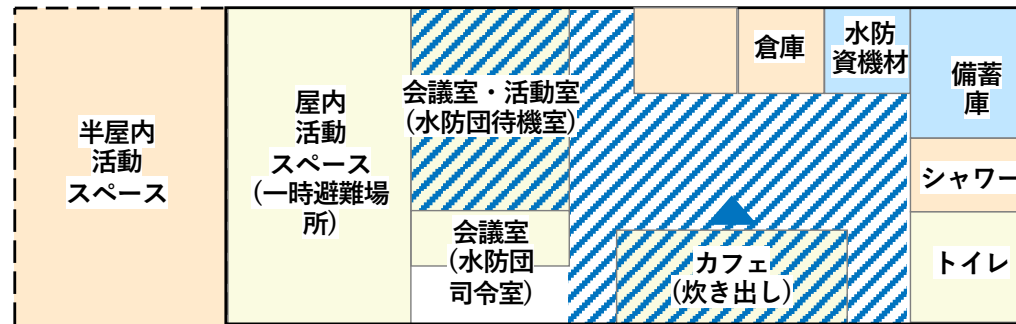
事例：東遊園地 URBAN PICNIC

<https://eastpark.jp/> <https://urbanpicnic.jp/>



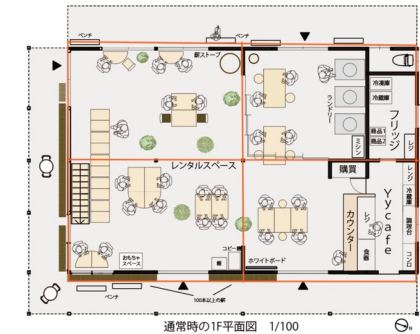
フードやドリンクをテイクアウトし、公園で楽しめるカフェやピクニックグッズ（ラグ、テーブル、ランタン）の貸し出しを行う。様々なプログラムを企画する人を募る公募プログラムや、自由に使えるレンタルスペースも。

資料4 水防センター参考事例② テイクアウト屋内型



B. テイクアウト屋内型

事例：泉北ラボ <https://semboku-fund.org/about-sembokulab/>



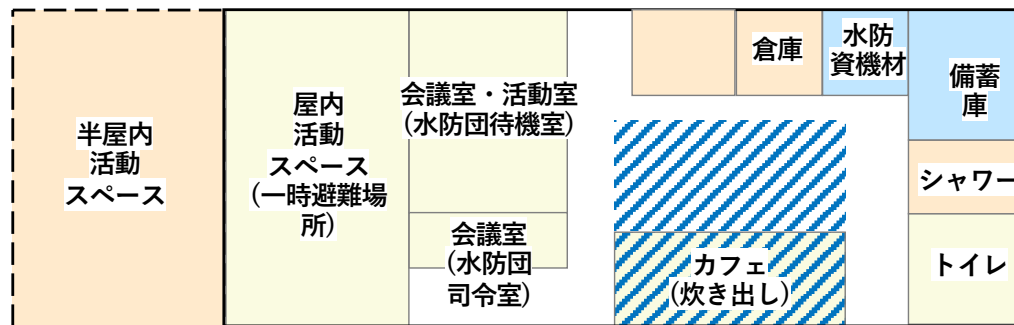
テイクアウトスタイルのカフェでフリーの席を自由に利用できる。レンタルスペースとして、空間を区画ごとに借りることもできる。ランドリー、ミシンの貸し出しや私設のシェア本棚「まちライブラリー」など滞在できる設備が整う。モニター、Wi-Fi、電源を使用できるコワーキングスペースとしても利用できる。

事例：南池袋公園 RACINES FARM TO PARK https://parkful.net/2017/02/photocontest201701_interview_racines/



公園に隣接するテイクアウトスタイルのカフェ。店内の席や店外のベンチ、公園も利用するなど自由に過ごせる。ガラス面が大きく、明るいカフェがあることで夜も明るく過ごせる公園が保たれる。

資料4 水防センター参考事例③ カフェ・レストラン型



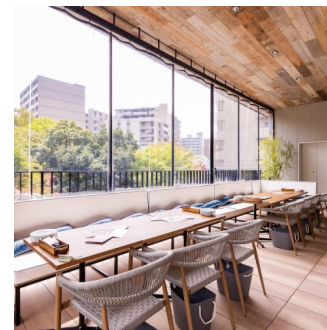
C. カフェレストラン型

事例：& LOCALS 大濠公園 <https://andlocals.jp/>



大濠公園内にあり、地域の食材をつかったドリンクやフードを提供。テイクアウトメニューを公園のベンチで食べることも可能。

事例：good spoon 江坂公園 <https://esaka-park.jp/>



江坂公園内にあるカフェ。150人まで収容可能で、貸し切り可。Wi-Fiもあり。テイクアウトメニューを公園のベンチで食べることも可能。